

「成功者とは」
～失敗しても失敗者になってはいけない、
成功しても失敗者になる～

Ⅱコリ12:5～11

みなさんにとってヒーローとはどういう存在でしょうか。強いからヒーローでしょうか。それとも弱い人を守るからヒーローでしょうか。ヒーローとは周りの人を喜ばすからヒーローと呼ばれるのです。TVや映画などでもヒーローというのは敵に向かっていきますが力を誇示するために戦っているストーリーはあまり見たことがありません。周りにいる人を喜ばせたいという信念を感じることができるからこそ、周りからヒーローと呼んでもらえるのです。世界的に活躍しているイチロー選手は3000本安打を打ったときにヒットの数よりも「自分は6000本失敗したんだ」とコメントしたのです。彼はヒットになった3000本よりヒットにならなかった失敗の6000本に目をむけて何か原因であったのかを学んでいたのです。ですから彼は数年後4000本安打を記録するようになりました。では聖書の歴史に戻りますが、その中に出てくる人は失敗の連続でした。どの人物も失敗をしていました。しかしその後の行動において、失敗に向き合いそこから学んだ人と失敗に向き合わずにいた人の分けることができます。ではその事に注目しながら弱さについて見ていきたいと思えます。(Ⅱコリ12:5～11) 私たちにとっての弱さとは何でしょうか。まず最初に何を思い浮かべるでしょうか。そして自分の今の現状を弱さと表現するよりも、過去に犯した失敗を思い出しながら弱さを感じるのではないのでしょうか。なぜそのように感じるのでしょうか。それは失敗をした時に、それに向き合わずにいたため「乗り越えていない」「勝利していない」という思いが残ってしまっているからです。それは心の中にもやもやとして残り、時々思い巡らし落ち込ませていくようになるのです。では失敗してしまった時に乗り越えていけばそのようにならないと分かっているにもかかわらず乗り越えてはいないのです。私たちはすぐ「人のせい」にして自分は悪くないと思うようになっていきます。それはアダムとエバが犯した責任転嫁の罪ゆえに私たちの中に原罪として受け継がれてしまいました。私たち教会に集っているものはそこで自分を見つめなおし、同じ過ちを繰り返すことなく進んでいけるように努力をしつづけることができます。それは瞬時に治せるものもありますが、そうではないものもあります。長い時間かけて身につけてしまったものは治すのに時間がかかるものもあります。私たちの中にある原罪は失敗から学ぶことができないようにしてきます。トラウマという言葉を日常的に使っていますが、これも過去にあった失敗、恥、傷を正しく処理していないから影響を受けていくようになるのです。キリストの十字架はそのためです。私たちは十字架によって向きを変えて出発できるようになりました。世の中における成功者と言われていた人はすべてが順風満帆であったのではなく、人知れない苦勞の中、逃げずに立ち向かい乗り越え続けたからそう呼ばれるようになるのです。私たちは向きを変えて、失敗しても逃げない人生へと変えていきましょう。聖書は「人の失敗を赦される神の愛について」書かれているともいえます。神は悔い改めた時から新しい歩みへの道が開かれていくことを見る事ができます。ですから私たちは本当の意味で成功者になっていきましょう。失敗をすることと失敗者になることは大きな違いがあります。失敗は誰もがします。しかし失敗者とはまず第一に自分の失敗を認めることができない人のことです。ですから**①誰も失敗します。それは私たちが後悔するためではありません。**(ヤコブ3:2) アンパンマンという絵本やアニメがありますが、作者はクリスチャンでした。そしてアンパンマンのモチーフはイエスキリストなのだそうです。確かに自分を犠牲にして周りを喜ばしている姿、主題歌の歌詞を読むとそのことが理解できます。そして作者が何のために生きるのかを教えたいと願っていることが分かります。私たちは反対に失敗しても悪かったことを認めず、そのまま何も変わらない人生で良いのでしょうか。(伝7:29) ソロモン王は王になった頃は良い王様でした。私たちは成功の美学に注意しなければなりません。〇〇さんは成功しているから真似してみよう、というのはよくありません。私たちは神さまによる将来の計画が用意されています。それは人真似でできるものではありません。私たちは向きを変えて出発し始めなければいけません。成功者へ目を向けるのではなく、私たち自身に目を向けていき、失敗を乗り越えていきましょう。私たちは多くの人の失敗を自分のことのように聴くことができます。そしてそこから学ぶことができる素晴らしい能力を持っているのです。**②失敗は聴き学ぶためです。**今の時代、人とのつながりが希薄になり、周りから学ぶことができなくなってきているのです。そして私たちは神さまからのメッセージを聴く中で、私たちが経験していない失敗をした人の話を聴く中で、自分が失敗しないようになっていくのです。そしてその失敗から向きを変えて出発できている人を見るからこそ、私たちも向きを変えて出発できると信じて歩いていけるようになるのです。私たちは小さい頃から失敗するなと教えられてきていないのでしょうか。言われた通りにしないから失敗したんだと言われ続けてきているため、教会でも同じように失敗を指摘されると拒否反応を起こしてしまうようになりました。そして私たちは自分自身に劣等感を感じながら生きていることとなります。それもいけないことです。周りの人が私たちのことをどのように見ているかは関係ありません。人からよく見られたいという欲があるのです。私たちは失敗した中から学ばないといけないのです。落ち込ませたり、後悔させるためでもありません。それは私たちが変わるチャンスにしていくのです。**③神さまは失敗を用い益とする！！セカンドチャンス。**神さまは私たちの失敗を用いて益として下さるお方です。神さまに向かなくてはいけないのです。今までの失敗だらけの人生でも変えることができるのです。それはただ失敗を認めることから始まります。私たちは言い訳をせず、逃げずに立ち向かっていきましょう。そうすればそこから学び、向きを変えて出発することができます。私たちは本当の成功者への歩みをしていきましょう。(要約者：平澤 一浩)

